

THE JAPAN SOCIETY FOR INTERCULTURAL STUDIES

日本国際文化学会ニューズレター

投稿論文募集・優秀論文推薦依頼臨時号

編集発行

日本国際文化学会事務局

〒253-8550

神奈川県茅ヶ崎市

行谷1100

文教大学国際学部

山脇研究室

tel 0467-53-2111

fax 0467-54-3722

7月7日～8日 第11回全国大会 国際文化会館・青山学院大学で開催

特別シンポジウム「災害と言葉、そして言葉と災害」

3/11後の展望について白熱討議：次号で報告

『インターカルチュラル』第11号

研究論文ほか募集

-詳細は2頁へ-

投稿締め切りは

2012年9月末日 (必着)

2012年7月7日 15:00～17:30 国際文化会館 (東京・六本木) 若林小田太記念ホール

主催：公益財団法人国際文化学会、青山学院大学国際学部国際文化センター
後援：東京大学、早稲田大学、筑波大学、中央大学、立教大学、法政大学、明治大学、清泉女子大学、日本女子大学、国際基督教大学、同志社大学、関西学院大学、神戸大学、大阪大学、京都大学、奈良女子大学、岡山大学、広島大学、九州大学、熊本大学、鹿児島大学、沖縄大学、琉球大学、琉球女子大学、琉球大学附属国際文化センター

特別シンポジウム
災害と言葉、そして言葉と災害

3/11後の展望について白熱討議：次号で報告

東浩紀 / 平野啓一郎 / 星加良司 / 川村湊 / 白石さや

【特別シンポジウム・ポスター原画解説と作者紹介】

昨年の特別シンポジウムに引き続きメディア・アーティストの高田哲雄さんにデザインをお願いした。高田さんによれば中央に展開するオブジェは震災の瓦礫をイメージしたとのことである。以下は筆者の解釈である。闇に浮かぶデジタルな瓦礫は三次元の螺旋を思わせる。これをDNAの三重螺旋と解釈すればその含意は深い。この螺旋は言葉すなわち始源としてのロゴスへと通底しているのではあるまいか。始源の世界は背景の深い闇と符合している。デジタルな瓦礫に筆者はDNAに襲いかかる不可視の放射線の脅威を見た。くねるオブジェの多義性に注目してみると、それは奇人として知られる深田英泉の美人画のエロスを思わせる。エロスは真理への渴望であり希望でもある。今年も高田作品のメッセージ性に感服している。

高田哲雄 メディア・アーティスト、文教大学情報学部教授、日本国際文化学会会員。東京芸大卒。2012年、第31回 損保ジャパン美術財団奨励賞受賞作家。2004第40回国際亜細亜現代美術展、フジテレビジョン賞受賞。

(解説と紹介：会長・若林一平)

『インターカルチュラル』第11号への投稿募集

学会誌『インターカルチュラル』第11号への投稿を以下の要領で受け付けます。

会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

投稿規定および執筆細則を下記に再掲しました。

年報『インターカルチュラル』編集長 川村 湊

- 論文のほか、研究ノート、実践レポート、研究動向、書評の投稿も歓迎します。詳しくは下記の投稿規程と執筆細則をご参照下さい。
- 投稿の締め切りは2012年9月末日（必着）とします。
- 投稿原稿は、次の宛先まで電子メールまたは郵送でお送り下さい。

（原稿送付先）

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

佐賀大学 文化教育学部 木原誠研究室宛

電子メール：makoto@cc.saga-u.ac.jp

『インターカルチュラル：日本国際文化学会年報』投稿規定

1. 寄稿資格

本会会員の方は自由に投稿できます。寄稿規程並びに執筆細則を熟読の上投稿してください。ただし、会費滞納の場合審査および掲載をしないことがあります。また編集委員会が必要と認めた場合は、非会員にも寄稿を依頼することがあります。

2. 審査

投稿された原稿を掲載するか否かは、別に定める査読規程に基づいて編集委員会で審査の上決定します。なお、原稿（図表、写真、記録媒体などを含む）は採否に関わらず返却しません。

3. 枚数

枚数（400字1枚計算）には原則として下記の制限を設けます。いずれも本文、図表、注、文献目録等を含めた枚数です。ただし欧文要旨は枚数には含みません。枚数超過の場合、審査対象としないこともありますので注意してください。

論 文	50枚以内+欧文要旨（200語程度）
研究ノート	30枚以内
実践レポート	30枚以内
研究動向	30枚以内
書 評	5～10枚

（以下3頁へ）

4. 投稿形式

原稿は原則としてワープロ、パソコンでプリントアウトしたものとします。原稿ファイルをメールに添付して下さい。添付ファイルは多くの機種に対応できますが、なるべくテキスト・ファイルで提出して下さい。校正の段階では誤植以外の修正は認められませんので、完全原稿を提出して下さい。

5. 校正

校正は著者校正を原則とします。なお、審査制度を設けているので、採用決定後の校正段階での誤植以外の修正は原則として認めません。校正段階で大幅な加筆、修正があった場合、掲載延期および取り消しとなることもあります。また、組み替えなどによって生じる必要経費はご負担いただきます。

6. 欧文要旨

欧文要旨は、大幅な訂正が無いよう、著者校閲を原則とします。大幅な欧文校閲によって生じる必要経費はご負担いただきます。

7. 提出先および問い合わせ

(原稿投稿先)

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地
佐賀大学 文化教育学部 木原誠研究室宛
電子メール: makoto@cc.saga-u.ac.jp

8. 著者献呈

著者には掲載号を2部進呈いたします。それ以上の部数をご希望の場合は、2割引でお買い上げ下さい。

9. その他

本誌に発表されたものを転載する場合は、編集部にご一報の上、出版物を一部本学会にご寄贈ください。

<執筆細則>

プリントアウト原稿は1枚800字詰め(横書き40×20)とします。B5、A4に限ります。感熱紙での提出はご遠慮下さい。

2. 構成

論 文 題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献、欧文要旨

研究ノート 題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献

実践レポート 題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献

研究動向 題名、キーワード、目次、本文、注、参考文献

書 評 編・著者名、書名、副題、版数、出版地、出版社、刊行年、総頁数、定価を明示

3. 欧文要旨(論文のみ)

論文には欧文要旨(英語、独語、仏語のいずれかで、200語程度)が必要です。欧文要旨は校閲しますので、1行あけて印字し、対応する和訳を必ず付けてください。

4. 英文タイトル

論文、研究ノート、実践レポート、研究動向には英文タイトルを付けてください。

会員みなさまへおねがい

博士論文・修士論文・卒業論文

今期事業計画に基づき優秀論文推薦を依頼します
推薦書類はすべて当学会のウェブサイトにおいて公開し
可能な限り印刷媒体にて全会員に配布します
推薦人・被推薦人は日本国際文化学会会員に限ります
推薦を受けた場合は推薦後に入会いただいてもかまいません
2011年7月23日 会長・若林一平

推薦要領

- 1 非推薦人の事前了解を得た上で会員お一人で一編の研究論文を推薦できます。
- 2 推薦書類はテキストファイル形式 (***.rtf) とし以下の説明をつけてください。
 - 1) 該当カテゴリー：博士論文／修士論文／卒業論文
 - 2) 学位授与年月日・授与機関名（原則として2010年以降の論文）
 - 3) 論文の題目
 - 4) 執筆者名・在職/在学機関名・等（推薦日現在）
 - 5) 論文公開ウェブ・アドレス
論文は全文をPDF形式で公開してください。
 - 6) 論文要旨 1,000文字以内
 - 7) 推薦文 400文字以内
 - 8) 推薦年月日・推薦人氏名・在籍機関名・連絡先メールアドレス
- 3 推薦書類を事務局宛にメールで送ってください（「件名」は「論文推薦」とします）
日本国際文化学会事務局<jsics2011@gmail.com>
- 4 推薦書類の締め切り日
2012年9月末日必着

お知らせ：会員名簿が完成しましたので同梱しました／事務局より